

# 平成 25 年度 下 半期 指定管理者管理運営状況シート

## ●施設の概要

施設名	サンフレッドみわ・児童センター	所管課	福祉部子ども家庭課
所在地	岐阜市門屋字野崎95番地		
指定管理者名	社会福祉法人 岐阜市社会福祉事業団		
指定期間	平成24年4月1日～平成29年3月31日まで		
選定方法	<input type="checkbox"/> 公募 <input checked="" type="checkbox"/> 非公募		
料金制	<input type="checkbox"/> 使用料 <input type="checkbox"/> 利用料金 <input checked="" type="checkbox"/> 料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	16,862,000円		
施設の設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操を豊かにすることを目的とする。		
施設概要	◇構造:鉄筋コンクリート(一部鉄骨)造2階建 ◇敷地面積:1,846.75㎡ ◇延床面積:674.92㎡ ◇施設内容:遊戯室、幼児室、図書学習室、図工室、おもちゃ図書館、事務室、駐車場 ※障害者センターと合築で事務室ほか共用部分あり		

## ●利用状況

		H25 下半期	H25 上半期	H24 下半期	H24 上半期	H23 下半期
利用者数 (単位:人)	来館者数	8,416	11,063	9,973	11,814	9,706
	移動児童館利用者数	868	506	838	896	1,115
各室稼働 状況	移動児童館実施回数(単位:回)	21	10	18	13	24
	開館日数(単位:日)	151	156	151	157	152

## ●業務の履行確認

区分	確認事項	履行状況
利用者サービス	①開館日・開館時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応 ⑤仕様書、事業計画書に基づく事業の実施	①、⑤計画どおり実施。 ②所長(正職員)、児童厚生員(正職員・嘱託員、非常勤各1名) ③広報誌の毎月発行し、小学校・幼稚園・保育所・公民館・コミセンに配布、児童館ホームページを月2回更新、職員ブログの更新、ぶりあネットにリンク ④壊れたおもちゃについての苦情があり、直ちに修理を行った。
自主事業・提案事業	—	—
施設管理	①施設設備の保守点検の実施(仕様書別記2参照) ②施設の衛生管理に対する配慮、快適に利用できる状態の保持 ③省エネルギー並びに環境への負荷の軽減に努めること ④施設・設備・備品等の維持管理	①、④適切に実施。 ②おもちゃの消毒、玩具・遊具の毎月の定期点検 ③使用していない部屋の消灯とエアコンの停止の他、節水を実施。廃品を利用した工作 ④専門業者による野外遊具の年1回の点検、遊具等の安全な配置と管理の検討
施設修繕	下記の観点からの修繕実施状況 ①迅速な修繕の実施 ②指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	②大規模な修繕については、指定管理者及び岐阜市に要望を提出
危機管理・法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	①、②、③マニュアル等に沿って適切に実施。不審者情報の広報 避難訓練の月2回実施、消防訓練を年1回実施、危機マニュアルの徹底

●利用者評価

利用者アンケートの実施状況	①子育て支援事業に関する参加者の意識調査 平成26年2月13日～2月14日 対象者21名(回答率100%) ②児童健全育成事業に関する意識調査 平成26年2月11日～2月16日 対象者45名(回答率100%)
利用者アンケートの実施結果	①子育て支援事業に関する参加者の意識調査 1 幼児クラブで楽しそうだったプログラム(複数回答) ウォーターマット4人、ボール遊び4人、ヤクルトの容器のおもちゃとバルーン4人、シャボン玉4人、車あそび2人、 ぼんぼんと鈴の音楽あそび3人、風船あそび2人、さかなつり3人、やきいも2人、手足型取り3人、サーキット5人他 2 児童センター運営について ○職員について ・あいさつ 満足95%、ほぼ満足5%、普通0%、やや不満0%、不満0% ・言葉遣い 満足86%、ほぼ満足14%、普通0%、やや不満0%、不満0% ・対応 満足90%、ほぼ満足10%、普通0%、やや不満0%、不満0% ○施設について ・整理整頓 満足81%、ほぼ満足14%、普通5%、やや不満0%、不満0% ・使いやすさ 満足71%、ほぼ満足24%、普通5%、やや不満0%、不満0% ②児童健全育成事業に関する意識調査 1 児童館・児童センターの好きなところ、楽しかった行事(複数回答) ゲーム30人、ドッジボール24人、卓球16人、スライム14人、パズル12人、まんが10人、プラバン10人、野球8人他 2 児童館・児童センターへ遊びに行くことができる曜日(複数回答) 火曜日9人、水曜日13人、木曜日8人、金曜日10人、土曜日34人、日曜日32人
利用者からの要望・苦情と対処・改善	・参加者の意識の問題だと思いますが読み聞かせの時など私語が多いのが気になります。(子どもに示す姿としても) ・2回のおもちゃの部屋が年少までなので、年長くらいまで利用できるにしてみらえると兄弟がいても利用しやすいと思います(4人) ・お餅つきを復活させてほしい。なかなか家でできないイベントがあると嬉しいです。 ・駐車場が少し遠い。 ・お茶、昼食、おやつスペースがほしい。(3人) ・2階の遊ぶコーナーも楽しそうに使ってみたい。 ・びよちゃんタイムや、MUSICびよちゃんなど、曜日ごとに色々なクラブなどがあっていいと思う。 ⇒子どもたちの様子や母親のニーズに応じていろいろやっていきたいと思います。

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
公平性 透明性	住民の平等利用が確保されること	平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	・利用者アンケートの実施 ・運営委員会の開催	A	A	A
		情報公開、広報の方策	・利用者アンケート結果の公表(館内掲示など) ・広範で適切な広報活動の実施(ホームページなど)	A	A	A
		区分評価			A	
効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること	既存業務の改善、工夫又は新規事業等の実施	・業務改善や工夫又は新規事業(行事)等の実施	A	A	A
		利用者ニーズ、苦情などの把握方法及び対応方策など	・利用者アンケートの実施 ・苦情・クレームへの着実な対応	A	A	A
		利用者に対するサービス向上の方策(窓口対応、プロモーション、設備の整備など)	・移動児童館の実施(仕様書別記3参照) ・利用者へのサービス向上に繋がる方策の実施	A	A	A
		利用促進、利用者増の方策	・利用促進や利用者増に繋がる方策の実施	A	B	B
		サービスの質を確保するための体制、モニタリングなど	・事務分掌等に基づく事務分担の実施	A	A	A
		施設の効用(設置目的)を最大限発揮できるスタッフの配置	・児童厚生員を2人以上、その他の職員(施設が児童センターの場合は体育指導員)を1人以上配置(このうち最低1人は常勤職員とすること)	A	A	A
区分評価			A			
効率性	事業計画書の内容が、管理経費の縮減が図られるものであること	指定管理経費の妥当性(収支計画の妥当性など)	・収支計画に沿った運営(予算書に沿った執行)	A	A	A
		管理経費縮減の具体的方策	・管理経費縮減に繋がる方策の実施(リサイクルやリユース、節水・節電など)	A	A	A
		区分評価			A	

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	組織及びスタッフ(採用予定者も含む)の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識等	・児童厚生員を2人以上、その他の職員(施設が児童センターの場合は体育指導員)を1人以上配置(このうち最低1人は常勤職員とすること)	A	A	A
		スタッフ(採用予定者も含む)の管理、監督体制	・事務分掌等に基づく管理・監督体制並びに事務分担の実施	A	A	A
		スタッフ(採用予定者も含む)の人材育成の方策	・職員の資質向上を図る研修の実施又は研修会への参加	A	A	A
		リスクへの対応方策(防止策、非常時の対応マニュアルなど)	・危機管理(リスク)や非常時対応のマニュアルの整備 ・リスク防止策の実践	A	A	A
		区分評価				
貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域(以下「地元」という。)の振興、活性化などに貢献できるものであること	地元の法人その他の団体の育成(一部業務の再委託先)、地元住民の活用(雇用又はボランティア等)	・地元の諸団体との連携、交流 ・地元の法人その他の団体の育成又は地元住民・高齢者・障がい者等の活用	A	A	A
		地元での社会活動等への参加	・地元の振興、活性化などに貢献できる社会活動等への参加(地元行事への参加)又は地元の団体・住民との協働事業等の実施	A	A	A
		区分評価				

### ●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

今期の取組みに対する評価	利用者に対する声掛けやあいさつを心がけ、楽しく遊ぶことが出来るように取り組み、利用者の方々も笑顔で返していただいているので、よかったのではないかと思います。環境設営にも注意をし、衛生面にも気をつかい、よりよくすごしてもらえたのではないかと思います。
前回までの意見を踏まえた取組み状況	小学生アンケートや日常の会話で聞いた好きな行事を積極的に取り入れ、また、おもちゃも取り入れて来館しやすい状況を作りました。 また、友達作りにも取り組み、学校関係なく一緒に遊ぶことが出来るようにしました。
今後の取組み	季節的な要素も取り入れた取り組みや、おもちゃの見直しをすると共に、友達と一緒に遊ぶ楽しさを知るふれあいを重視した取り組みをしていきたいと考えています。

### ●所管課の意見

<p>広報活動として、小学校(1,000人以上)・幼稚園・保育所(園)・公民館・コミセンにお便りを配布した他、ホームページの月2回更新、ぶりあネットへのリンクを行っている。</p> <p>来館利用者から情報提供を受けて講師にアプローチを行い、新規事業として琥珀の中の虫を探す科学あそびを実施し、好評を得ている。</p> <p>社会福祉協議会の三輪北支部、三輪南支部や藍川子育てサークルと連携し、イベント開催時に移動児童館を実施した他、地域情報の共有に努めた。</p> <p>移動児童館については、下半期21回実施(868人利用)している。</p> <p>職員体制や経営状況については、問題なく運営が行われた。</p>
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

### ●指定管理者評価委員会の意見

<p>今日の見学館の役割をよく理解し、積極的に事業に取り組んでいる。</p> <p>幼稚園・保育所(園)・小中学校・ボランティアとの連携ができています。</p> <p>適正に管理運営されており、良好であると認められる。</p>
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------